

## 東京2020教育プログラム

## オリンピック・パラリンピック教育実施校（ようい、ドン！スクール）の事業認証の概要

## 1. 趣旨

オリンピックは、世界中のアスリートが競い合う姿を目にすることを通じ、自己ベストを目指して努力することの尊さ、スポーツを通じた友情や尊敬を学ぶきっかけとなる。また、様々な障がいのあるアスリートが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックにおいては、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる機会が与えられており、共生社会の重要性を学ぶきっかけとなる。オリンピック・パラリンピック教育は、このように教育的な価値を持つオリンピック・パラリンピックのテーマを教育活動に取り込むものである。

こうしたオリンピック・パラリンピック教育の各種取組は、全国どこにいても誰もがオリンピック・パラリンピックに参加することを可能にするものである。組織委員会は、今後、若い世代を鼓舞する取り組みを一体となって行う「東京2020教育プログラム」（愛称：「ようい、ドン！」）を全国的に展開していく。

## 2. 対象

- ・日本全国の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校、専修学校高等課程（高等専修学校）、各種学校として認可を受けた外国人学校（留学生を対象とする日本語学校を除く）が実施する事業
  - ・日本国外に所在する日本人学校（私立在外教育施設を含む）が実施する事業
- ※国立・公立・私立を問わない

## 3. 流れ

都道府県・政令指定都市教育委員会（公立学校）、学校（私立学校・国立学校等）からの申請を受け、組織委員会は、申請した学校の取組を総合的に審査し、「オリンピック・パラリンピック教育実施校」（愛称：ようい、ドン！スクール）として認証する。認証された都道府県・政令指定都市教育委員会や学校は、教育活動の取組において、東京2020教育プログラムのロゴマーク等を使用することが可能。

（参考：審査の基準）

- ・東京2020ビジョンに合致している（全員が自己ベスト、多様性と調和、未来への継承）。
- ・学校全体で取組を行い、様々な教科や教育活動を通じて総合的に学習を行っている。
- ・オリンピックの価値（卓越、友情、敬意/尊重）、パラリンピックの価値（勇気、強い意志、インスピレーション、公平）を学習している。
- ・組織委員会が作成する又は認める学習教材等に基づいた年間指導計画を用意しており、計画的に取組を実施している。

## 4. スケジュール

2017年4月から全国展開。一度認証されれば、2020年の大会時まで継続。

## 5. 今後の予定

- ・認証を受けた学校全てに対する認証書の発行
- ・積極的かつ先進的に取り組むオリンピック・パラリンピック教育実施校に対しては、オリンピック・パラリンピアン等の派遣や、当該校の児童・生徒による2020年東京大会関連事業（大会マスコットやフラッグの学校訪問、2020大会の文化関連イベントへの参画等）に関わる機会を提供していく。

# 東京2020教育プログラム(学校編) 申請の流れ

## STEP1 申請

### ■ 申請方法

学校の種別（公立学校/私立・国立学校等）によって、申請の方法は異なる

- 【公立学校】申請書:都道府県・政令指定都市教育委員会（「管轄教育委員会」）が申請者として組織委員会に提出。  
マーク等の使用に関する確認書:学校の設置者である地方公共団体か教育委員会、もしくは管轄教育委員会が捺印したものを、管轄教育委員会が組織委員会に提出。
- 【私立学校、国立学校、専修学校高等課程（高等専修学校）、各種学校（外国人学校）、日本人学校（以下、「私立・国立学校等」と言う。）】各設置者が申請者として、組織委員会に提出。

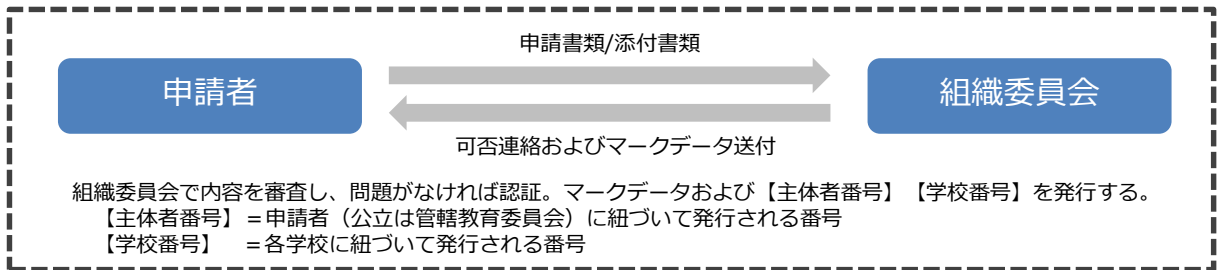
### ■ 申請書類

申請に必要な書類は下記の通り。

申請書類	添付書類
<ul style="list-style-type: none"><li>● 東京2020教育プログラム申請書 (公立は管轄教育委員会、私立・国立は各学校が作成)</li><li>● マーク等の使用等に関する確認書 (公立は設置者である地方公共団体か教育委員会、もしくは管轄教育委員会が捺印したもの。私立は設置者、国立は国立大学法人、その他学校は設置者が捺印したもの)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 各学校のプログラム内容がわかる資料</li><li>● 公立学校の場合は参加校一覧(別紙1)</li></ul>

### ■ 申請の流れ

申請者は、申請書類を組織委員会に提出する。



## STEP2 マーク使用申請

※**教育現場の外の不特定多数の人々に向けて**マークを使用する場合において必要。  
使用方法が明確になった段階において申請。  
詳細は「マーク等取扱い基準」を参照。

### ■ 申請方法

各学校から直接、組織委員会に申請する。

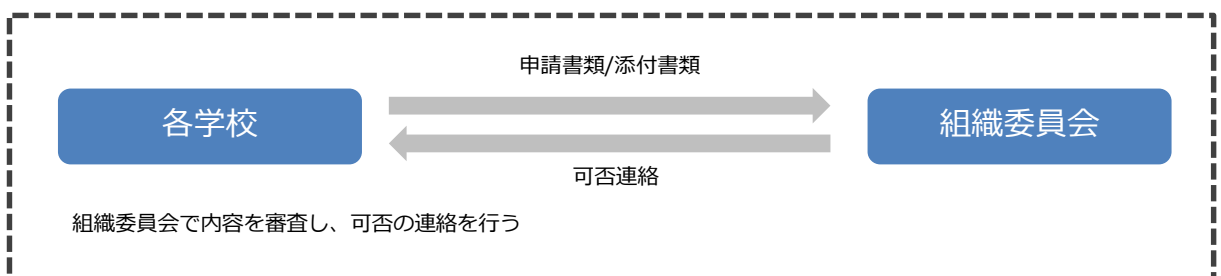
### ■ 申請書類

申請に必要な書類は下記の通り。

申請書類	添付書類
<ul style="list-style-type: none"><li>● 東京2020教育プログラムマーク等使用申請書</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● マーク利用方法がわかる資料（デザインデータ）</li></ul>

### ■ 申請の流れ

各学校は、申請書類を組織委員会に提出する。



## STEP3

### 実績報告

※年度終了後2ヶ月以内

#### ■ 報告方法

学校の種別（公立学校/私立・国立学校等）によって、報告の方法は異なる。

【公立学校】管轄教育委員会が組織委員会に提出。

【私立・国立学校等】各設置者が、直接、組織委員会に提出。

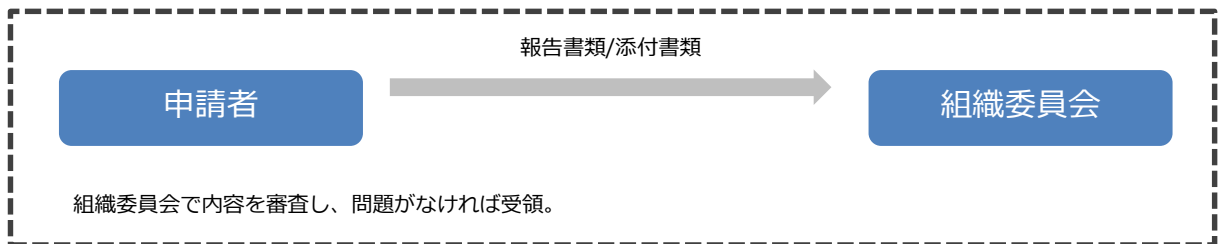
#### ■ 報告書類

報告に必要な書類は下記の通り。

報告書類	添付書類
<ul style="list-style-type: none"><li>東京2020教育プログラム（学校編）実績報告書</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容を示すデータ写真</li><li>公立学校の場合は、質問事項（別紙2）と実施校一覧（別紙3）</li></ul>

#### ■ 報告の流れ

申請者は、報告書類を組織委員会に提出する。



#### ■ 申請先

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
企画財務局アクション&レガシー部  
E-mail: [education@tokyo2020.jp](mailto:education@tokyo2020.jp)（申請専用アドレス）

#### ■ 問い合わせ先

Tel: 0570-00-6620(コールセンター)